



第48回運営推進会議

新型コロナウイルス感染拡大防止の為会議は休止しております。

グループホームつながり

登録数18名

男性 3名

女性 15名

	9月	
	前回推進会議時	現在状況
要支援 2	0	0
要介護 1	4	4
要介護 2	2	2
要介護 3	4	3
要介護 4	8	8
要介護 5	0	1
申請中	0	0
合計	18	18

平均介護度
3.0

日々の活動

10月・11月

バイタル測定

散歩

病院往診・受診

創作活動

洗濯物干し

訪問歯科

入浴

洗濯物たたみ

機能訓練指導

ラジオ体操

調理補助

運動会

口腔体操

食器拭き

ヘアカット

カラオケ

居室・フロア清掃

防止設備点検

11月の職員研修：社会人としての接遇・マナー

接遇とは？

- 1.挨拶
- 2.時間を守る
- 3.身なり
- 4.表情・笑顔
- 5.態度

接遇の目的

- ・相手に心地よく感じてもらう事
- ・相手を不快にさせない事

ただし『相手』は人それぞれであることを理解する！

1.挨拶

- ・気持ちの良い挨拶は人間関係を作る第一歩である。
- ・目線や表情に気を配り自ら声を出して爽やかに挨拶する。

2.時間を守る

- ・時間を守るのは仕事でもプライベートでも当然のマナー。
万が一遅れる場合は必ず連絡し、お詫びと理由、そして「〇分後に着きます」と到着時間の見込みを具体的な数字で伝える。

3.身なり

- ・介護現場では、利用者さまの体に直接触れることが多いため、清潔感が求められる。
相手に不快感を与えない清潔な身だしなみを心がけ、メイクや服装、髪型にも気を配る。

4.表情・笑顔

利用者様は、職員の表情をよく見ている。辛そうな表情やしんどそうな表情、硬い表情をしていると、利用者様は気軽に話しかけることができない。

友好的な関係を築くために、介護職員はどんなときでもなるべく笑顔でいるよう心掛ける。

お話を聞く時は、相手の目を見て明るくにこやかに対応することが大切。
また、コロナなどの感染症対策でマスクを着用していると表情が見えづらく不安な気持ちを与えてしまうことがあるため、口元の口角を上げるだけではなく、目元の表情も意識する。

5.態度

介護職員の立ち居振る舞いは、利用者様とコミュニケーションをするうえでとても重要なもの。立ち方、歩き方、物の受け渡し方など、立ち居振る舞いにはいろいろあるが、背筋がピンと伸びているだけでも、相手に好印象を与えることができる。

また、会話をする際は、常に自分の前面を見せ、相手と「正対」して接する。上半身を相手に常に見えているようにするだけで印象は大きく変わる。利用者さまが声をかけたくなる、話をしたくなる態度を心がける。

気づき・アクシデント

10月・11月

・ アクシデント 6件

内容: K・M 様 10月4日(月) AM 2:15

夜間巡回中、ドンと音がしたためKM様の居室を訪室する。

ベッドサイドの床に座っているKM様を発見。

寝返りを打った際に転落されたものと思われる。

バイタル・傷の有無・痛みの有無を確認するが特に問題ない為

様子をみる事となる。ご家族同意の上でサイドレールを1本貸与する事となる。

K・K様 11月1日(月) AM 8:30

KK様に服薬していただいた筈の薬がテーブル下に落ちているのを発見する。

口に入れるまでではなく、しっかり飲み込まれるまで確認する事を徹底する。

・ 気づき 25件

内容: N・Y 様 11月20日(土) AM 6:10

居室入り口で躓き転倒しそうになる。職員がすぐに駆け付けて支えた為事故にはならず。



グループホーム つながり

☎055-970-2938

ありがとうございました